

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

SDGsの取組

取組・活動内容	「いかなる時も地域を守る」をモットーに、常に地域医療の中核を担う医療施設として質の高い医療を提供できるよう、人財や設備等あらゆる面で将来を見据えた取り組みを行っています。			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	8	医療事故・感染症拡大防止を目的とした医療安全研修の実施をはじめとして、職種・部門ごとに入社時の全体研修・OJT等、教育プログラムを整備している。また、職員の資格取得支援にも積極的に取り組んでいる。	医療安全研修の受講率90%を目指す。(2025年まで毎年) 医療経営士の取得者を2023年4月比2倍を目指す。(2030年までに)
	社会	3, 11	365日受け入れ可能な救急体制の提供、一般市民や患者さん向けの医療の最新情報を発信する場を提供することにより、地域医療に貢献する。	常に救急の応需率100%を目指す。(2025年度まで毎年) 職員以外も対象とした公開講座を年2回以上開催する。(2025年度まで毎年)
環境	7	ライフラインの高効率・省エネルギー化を目指し、病棟照明の全館LED化をはじめとした、エネルギー設備の更新計画(2023年から2030年)と実施。	病院全体の電気消費量を20%削減。(2022年度比、2030年度までに)	